

20012 生活と国際経済 a Life and International Economy		1 年次～ 後期 2 単位	
担当者	浅野 義	履修可能学科	E Pe Pc C W F N
		関連資格	教職(C・W・F)
サブタイトル	グローバリゼーションの光と影		
授業内容 ・ ねらい	<p>グローバリゼーションが進行するなかで、世界の多くの人たちの生活は国際経済関係からますます多くの影響を受けるようになってきています。その影響にはプラス面もありますが、マイナスの面も多く見られます。この授業では、経済学の基礎的な理論を理解したうえで、私たちの生活がグローバリゼーションによってどのような影響を受けているのかを、先進国と開発途上国の具体的な事例を取り上げて考えていきます。</p>		
授業計画	第1回 オリエンテーション 第2回 グローバリゼーションとは何か 第3回 自由貿易の利益 第4回 国際資本移動の利益 第5回 国際労働移動の利益 第6回 WTOの経済学 第7回 為替レート決定の理論 第8回 ワシントン・コンセンサス	第9回 貿易政策①輸入関税の効果 第10回 貿易政策②FTA（自由貿易協定） 第11回 マクロ経済政策のトリレンマ 第12回 移民労働の送り出し国と受け入れ国 第13回 事例①WTOと国際基準 第14回 事例②アジアの通貨危機 第15回 事例③日本とアメリカの外国人労働者問題	
教科書 参考書	教) 清野一治著『ミクロ経済学入門』（日本評論社）		
評価方法	期末試験、出席状況を総合して評価します。		
事前準備学習 履修条件等			